MOREsystem 操作説明書

オフィスフューチャー株式会社

リリース　2011/03/03　　バージョン　Ver.1.2.0

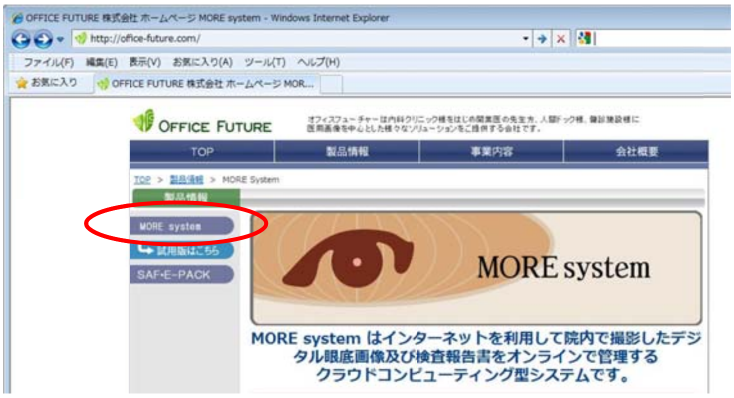
目　次

OFFICE FUTURE

1　MOREsystem 試用版及びお客様情報登録

1.1 MOREsystem 試用版

MOREsystem をご利用になる為にはまず弊社のホームページ(http://office-future.com/)より
①. 製品情報タブ
②. MOREsystem 項目
③.「試用版はこちら」ボタン
の順に進んでいただきますと、「MOREsystem お客様情報登録」の画面が表示されます。



1.2 MOREsystem お客様情報登録プログラムのダウンロード・インストール

① MOREsystem ではセキュリティを強化するためお客様の特定情報を利用させて頂いております。その為にお客様の各種情報を登録していただきます。さらに使用する PC のハードウェア情報も併せてセキュリティ強化に利用させて頂きます。

② 「MOREsystem お客様情報」画面ではまずシステムご利用に際しての注意事項が表示されます。



■ 対応ブラウザは「Internet Explorer」です。これ以外のブラウザで現在ご使用の場合は本 URL をコピーして「Internet Explorer」にて本 URL に移動して下さい。

■ MOREsystem では充分なセキュリティ性を確保するため、試用版をご利用いただく前にお客様の各種情報を入力していただきます。またシステムがご使用になる PC 情報を自動的に入手してセキュリティ情報として利用させて頂きます。

■ その為に下の「お客様情報登録アプリの起動」ボタンをクリックしていただき、クラウドサ

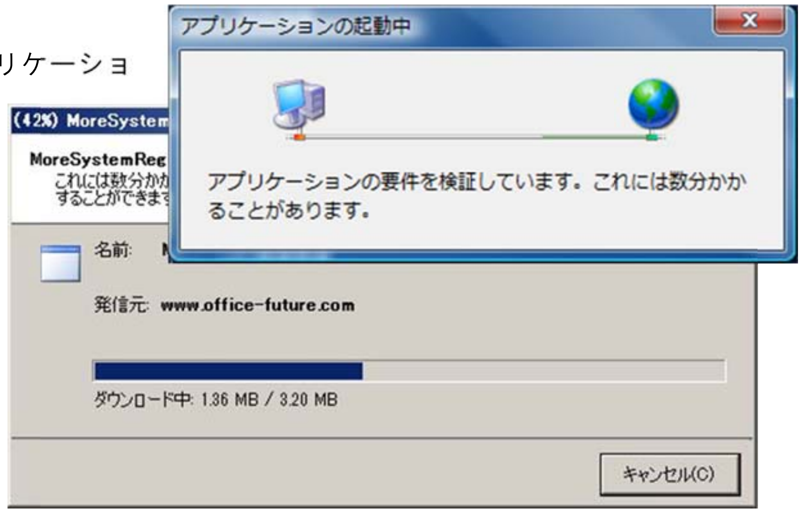
ーバーから必要なアプリケーションをダウンロードしてインストールしていただきます。ボタンをクリックすればクラウドサーバーが自動的に処理しますので、後は表示された画面の指示に従って必要情報のご入力をお願い致します。

- ■ お客様情報の入力後に本システムを利用するための契約条項が表示され、また契約書のプリントアウトをシステムが行います。契約書に関しては再度内容が表示されます。
- ■ 表示された契約条項をご承諾いただければ MOREsystem の眼底画像ファイリング機能、画像・報告書閲覧機能、報告書作成機能等の機能が一ヶ月間無償でご利用いただけます。ただしご試用期間中セカンドオピニオン依頼機能(遠隔読影依頼機能)はご利用いただけません。
- ■ セカンドオピニオン依頼機能(遠隔読影依頼機能)は本契約締結以降ご利用いただけます。

③ MOREsystem をご利用いただくには Windows OS のうち Windows XP SP3、Windows VISTA、Windows 7 のいずれかの環境が必要です。Windows OS 前記以外の場合は代理店担当者までご相談下さい。

④ 上位注意事項をご理解頂きましたら、「お客様情報登録アプリを起動」ボタンをクリックします。

⑤ システムが起動すると「アプリケーションの起動中」というタイトルの画面が表示されます。次に MOREsystemRegistry というお客様情報を登録するためのプログラムをダウンロードしてインストールする画面が表示されますので、終了するまでそのままでお待ち下さい。



⑥ 終了するとお客様情報登録プログラムが画面に表示されます

1.3　お客様情報登録

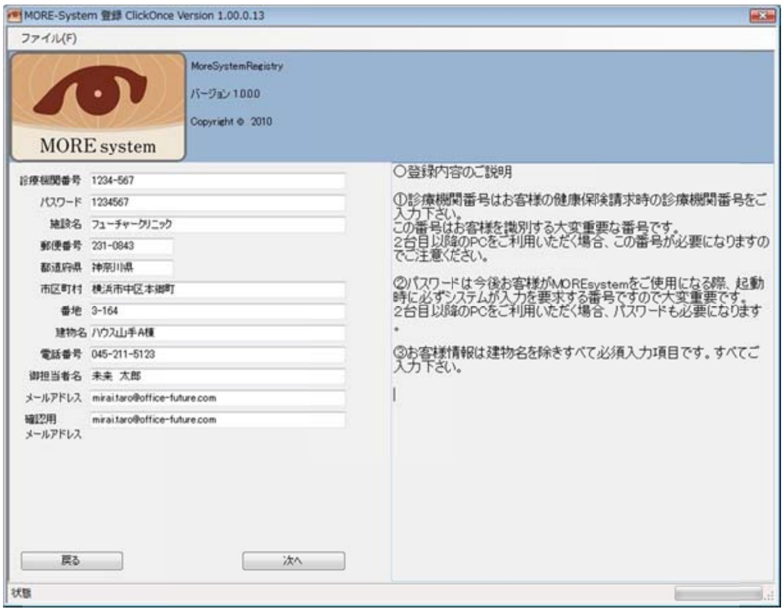
① 画面右側の注意事項をご理解の上、お客様情報を登録して試用版をご利用になるには「登録へ」ボタンをクリックします。ご利用にならない場合はあるいは後日登録される場合は「終了」ボタンをクリックして下さい。この場合「MOREsystemRegistry」というプログラムがインストールされたままになります。今後ご利用になるご予定が無い場合はお手数ですが、コントロールパネルの「プログラムの機能」を使用してアンインストールして下さい。



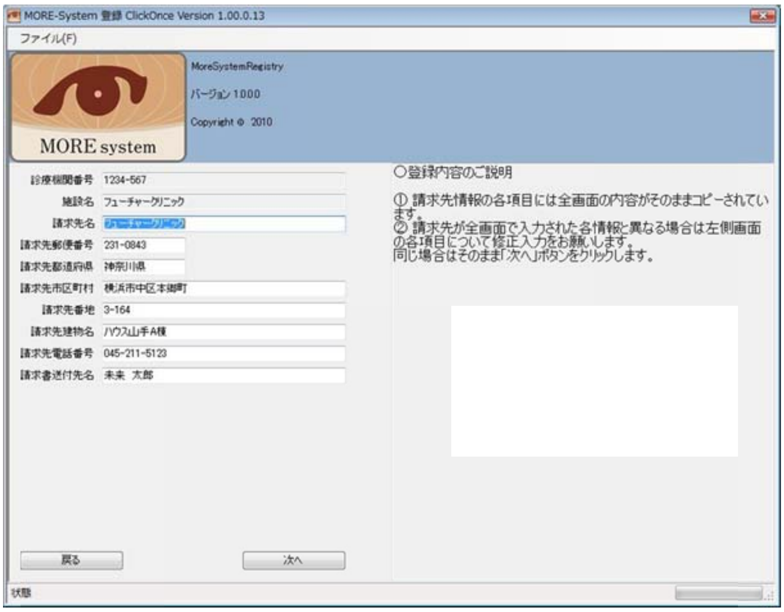
② 次に右の様な画面が表示されます。登録処理ではお客様がご使用になる PC よりハードウェア情報をセキュリティのために収集して利用させて頂きます。したがって試用版及び本使用においては実際に使用される PC で登録作業を行って下さい。今まで一度も MOREsystem にご登録が無いお客様は「新規登録へ」ボタンをクリックして下さい。既にご登録いただいているお客様で２台目以降の PC をご利用いただく為には追加登録が必要です。その場合は「追加登録へ」ボタンをクリックして下さい。前画面に戻る場合は左下の「戻る」ボタンをクリックして下さい。



③ 「新規登録へ」ボタンを押すと右の様なお客様情報を登録する画面が表示されますので建物名以外(必要な場合は入力します)のすべての項目に入力します。診療機関番号はお客様を識別するための ID となりますので、次のパスワードとともに大変重要です。特にパスワードはアプリケーション起動時、毎回必ずシステムから入力要求があります。また 2 台目以降の PC を登録する際にも必要になります。メモや記録に残す等、お忘れにならないようにお願致します。その他の項目は建物名を除き必須項目ですので必ずご入力下さい。メールアドレスは上下欄とも同じアドレスをご入力下さい、下欄は確認用です。入力が終了したら「次へ」ボタンをクリックします。前画面に戻る場合は「戻る」ボタンをクリックして下さい。

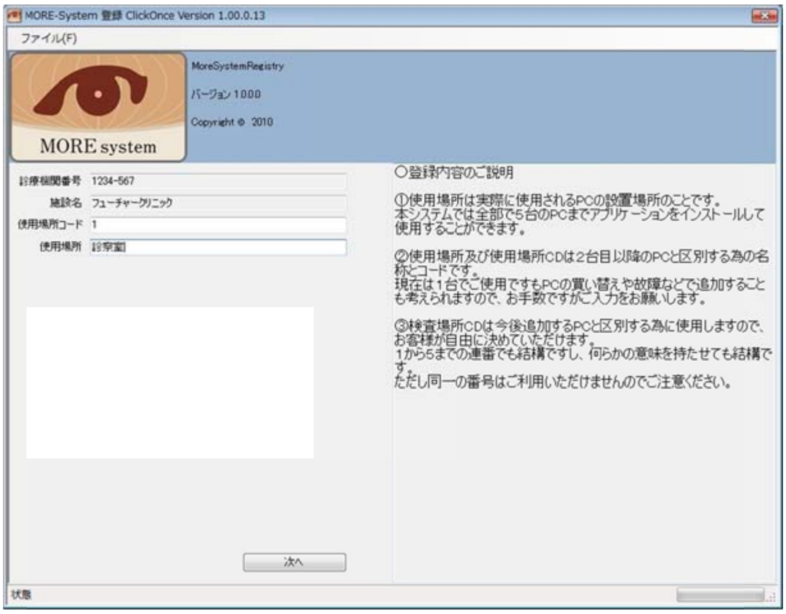


④ 利用料金のご請求先情報を入力して頂きます。前画面の



内容がそのまま各項目にコピーされます。そのままでよければ「次へ」ボタンをクリックします。ご請求先名やご送付先が異なる場合は項目内容を入力して下さい。前画面に戻る場合は「戻る」ボタンをクリックして下さい。

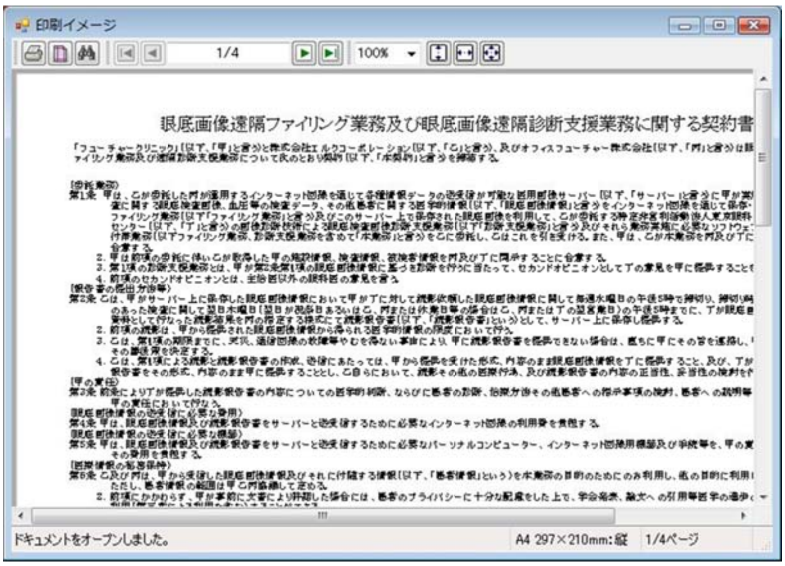
⑤ 次にご使用いただくPCの区別のため使用場所に関するご登録をしていただきます。使用場所コードと使用場所の名称をご入力いただきます。コードは1～5までの連番でも結構ですし、その他の番号でも結構です。これは今後複数のPCでご使用いただくための識別に使用します。したがって同一のコードはお使いになれません。登録は5台まで可能です。使用場所の登録が終了すると契約書に関する画面が表示されます。



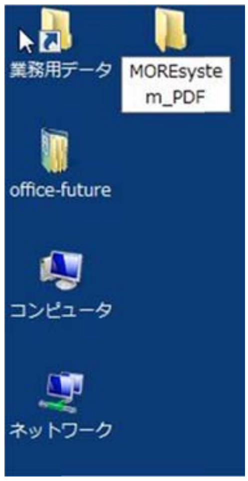
1.4 契約までの流れ

① まず「契約書の表示」ボタンをクリックします。画面上に契約書の文章が表示されます。内容をよくご確認の上ご承諾いただける場合は、「契約書の印刷」ボタンをクリックします。契約書と契約書の送付先案内文の4ページが印刷されます。ご使用のPCにプリンタが接続されていない場合は「契約書のPDF出力」ボタンをクリックします。印刷イメージのPDFファイルがデスクトップ画面に保存されます。このファイルをプリンタが接続されたPCにコピーしてプリントアウトして下さい。プリントアウトされた契約書は画面表示された契約書と同じ内容です。契約書の印刷またはPDF出力が終了しますと、「承諾」ボタンの操作が



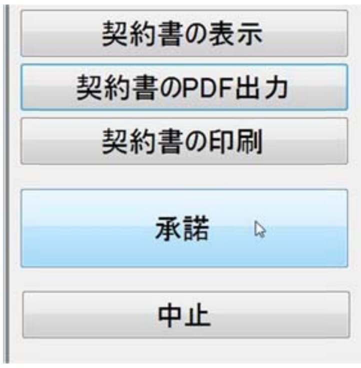


可能になります。ご承諾いただけない場合は「中止」ボタンをクリックします。

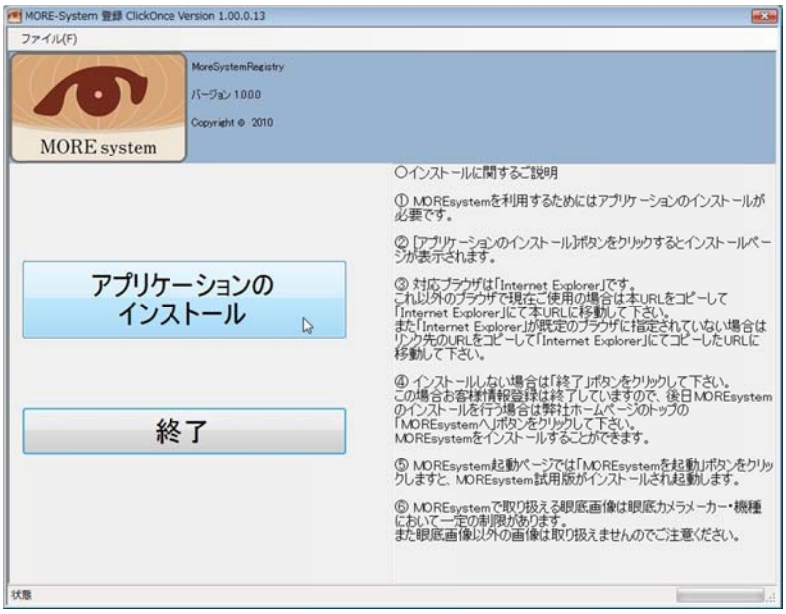


② MOREsystem には試用期間が設定されています。MOREsystem のアプリケーションをダウンローとしてから一ヶ月間無償でご利用いただけます。ただし試用期間中は遠隔読影依頼することはできません。その他の機能はご利用いただけます。一ヶ月の間に本契約に移行されない場合、一ヶ月経過すると自動的にシステムはご利用いただけなくなります。センターサーバーにお預けいただいたデータは消去されます。ただし、自動バックアップ機能がありますので、ローカルに保存された眼底画像及び報告書データはローカルにご利用いただけます。

③ 試用版のダウンロードは画面上の「承諾」ボタンをクリックしますと、アプリケーションのインストールページが表示されます。引き続き MOREsystem のクライアントアプリ(試用版)をインストールする場合は「アプリケーションのインストール」ボタンをクリックしてください。MOREsystem システムのホームページが開きますので、「2 起動及び設定」にお進み下さい。後日インストールされる場合もしくは MOREsystem をご利用にならない場合は「終了」ボタンをクリックします。



④ 本契約への移行は次の様に行います。試用期間中にプリントアウトされた契約書 3 通に全てご捺印いただき、案内文に記載された宛先にご送付ください。契約書が到着しましたら確認作業を行い、確認が取れ次第ご連絡させて頂きます。この時点より遠隔読影依頼を行うことができます。また契約書のお客様分をご送付させて頂きます。



2 起動及び設定

2.1 MOREsystem の起動

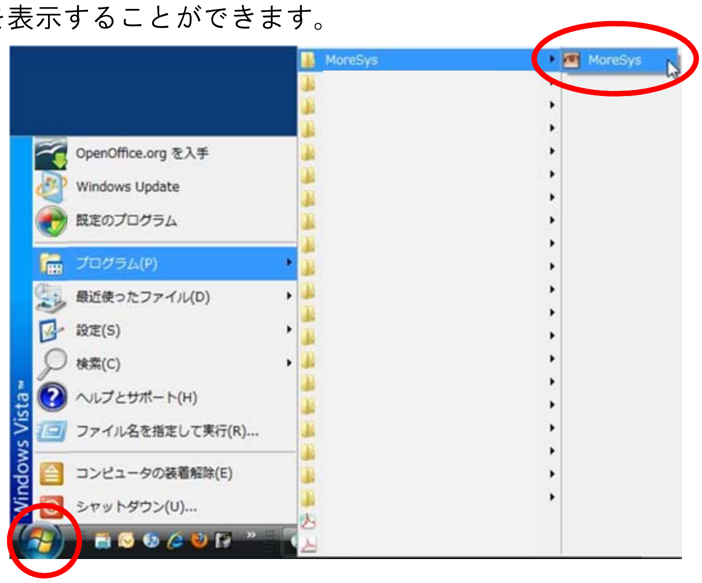
MOREsystem はクラウド型システムです。したがってインターネットに接続された PC 環境が必須となります。システムの一部はお客様がご使用の PC にも一部ダウンロードされてインストールされます。インストール作業はシステムが自動的に行います。また MOREsystem のクライアントアプリを起動するとシステムは常にプログラムが最新のバージョンであるか確認し最新バージョンで無い場合は自動的に最新バージョンをダウンロードしてクライアント PC にインストールします。この作業の終了後クライアント PC で MOREsystem がご利用いただけます。

① 「1 MOREsystem 試用版及びお客様情報登録」から進まれたお客様は右の様な MOREsystem ホームページが開きますので、「MOREsystem を起動」ボタンをクリックします。

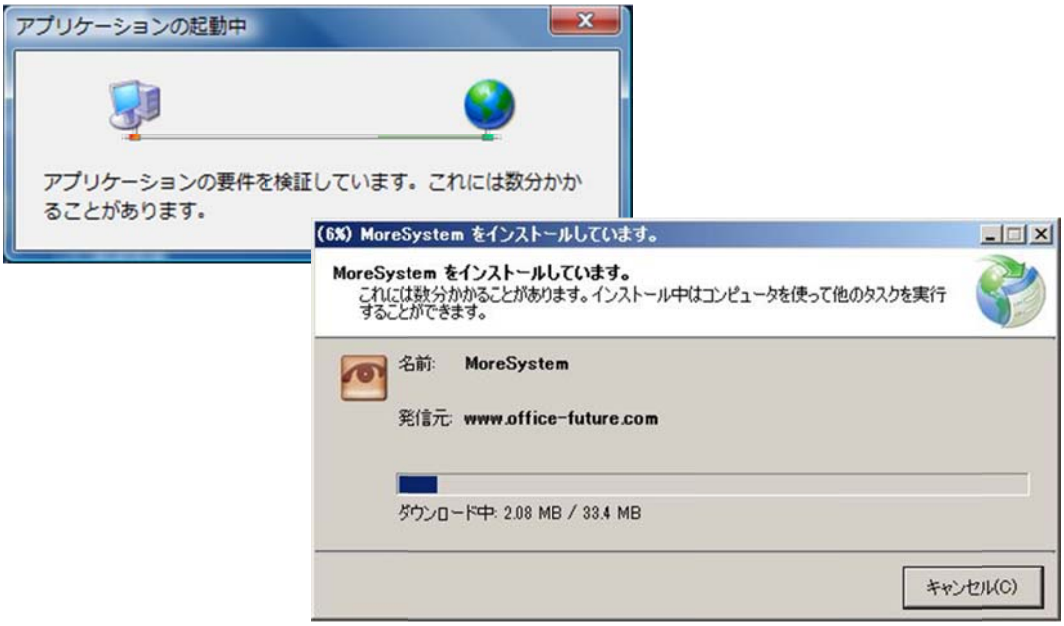


② 既に MOREsystem を一回でも起動されたお客様は Internet Explorer を起動し URL に「http://www.office-future.com/more_system/download_app/moresystem.htm」を入力して MOREsystem のホームページを開きます。または弊社ホームページの製品情報タブの MOREsystem のページ「http://office-future.com/product/more_system.html」から開くこともできます。表示されたホームページの「起動」と書かれた文字をクリックしますと MOREsystem が起動します。この URL を「お気に入りに追加」(ブックマーク)しますと、次回からお気に入りメニューから選択すると簡単に MOREsystem のホームページを表示することができます。

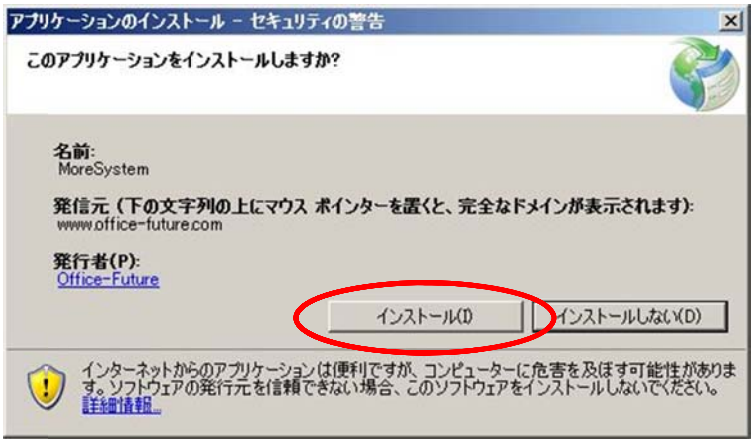
③ また一度インストールされたアプリケーションはタスクバーの「プログラム」からシステムを直接起動させることも可能です。スタートボタンからプログラムを選択し、ポップアップメニューから「MOREsystem」をクリックすると、MOREsystem ホームページから起動した場合と同様にシステムを起動させることができます。



④　システムが起動すると「アプリケーションの起動中」というタイトルの画面が表示されプログラムが最新バージョンかを確認します。MOREsystem 使用初回時及びプログラムがバージョ



ンアップしている場合は上の様な画面が表示されシステムが自動的にバージョンアッププログラムをインストールします。場合によってセキュリティソフトの影響で次の様なアラート



ボックスが表示されることがあります。その場合は「インストール」、「実行」等のボタンをクリックして作業を進めます。またアプリケーションがバージョンアップすると以下のようなメ



ッセージが表示されます。すぐにアプリケーションをバージョンアップする場合は「OK」をクリックします、後刻バージョンアップアップする場合は「スキップ」をクリックします。次に MOREsystem 起動したときに同様のメッセージが表示されますので、都合の良いタイミングでダウンロード、インストール作業を行います。

2.2　MOREsystem の各機能

① 初期画面：MOREsystem が起動すると最初にパスワードの入力を要求してきます。お客様情報を登録していただいた際に設定していただいたパスワードです。正しいパスワードを入力していただきます。次に読影医をご入力いただきます。読影医は施設様において眼底検査をご担当頂くドクターのことです。院内で眼底検査の読影を行い、報告書を作成する場合、この「読影医」のお名前が報告書に登録されます。院内読影が行われない場合は検査を担当されるコメディカルの方をご登録いただくことも可能です。



② 読影医の登録はまず「読影医の編集」ボタンをクリックします。編集画面が表示されますので、

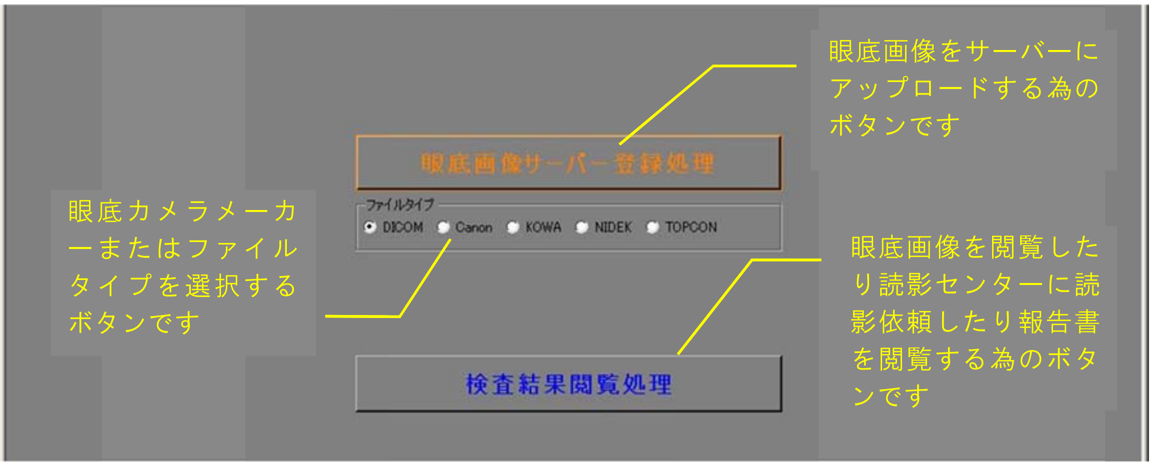


画面最下部の入力欄に登録するドクターまたはコメディカルのお名前を入力します。「追加」ボタンをクリックすると上部の一覧表に表示されます。この作業を繰り返しすべての担当者を登録し、最後に「保存」ボタンをクリックして終了します。

③ 最初のログイン画面が表示されますので、プルダウンから読影医(担当者)を選択して、「ログイン」ボタンをクリックします。「承認医の権限を付加する」機能についての詳細は別途ご説明します。



④ 次の様な 2 種類の処理メニュー画面が表示されます。眼底画像をサーバーに登録するための「眼底画像サーバー登録処理」と、登録された画像を閲覧したり、報告書を作成したり、あるいは遠隔診断でセカンドオピニオンを依頼したりするための「検査結果閲覧処理」です。



⑤　眼底画像サーバー登録処理：眼底カメラで撮影した眼底画像を MOREsystem サーバーにアップロードして登録する処理です。MOREsystem のクライアントアプリをインストールすると PC の C ドライブの直下に｢ofImage｣というフォルダーが作成されます。撮影された眼底検査をこのフォルダー内に保存していただければシステムが自動的に眼底画像をサーバーに登録します。詳細は｢4　眼底画像サーバー登録処理｣をご参照下さい。



状態	検査日	検査時刻	受付番号	患者ID	氏名	左右眼	検査区分	生年月日	年齢	性別
	20101123	143829		11111	テスト　太郎	左	左眼	19581018	0	M
	20101123	143829		11111	テスト　太郎	右	右眼	19581018	0	M
	20101123	142652		22222	テスト　三郎	右	右眼	19450811	0	M
	20101123	142652		22222	テスト　三郎	左	左眼	19450811	0	M
	20101123	141652		33333	サンプル　洋子	右	右眼	19651123	0	F
	20101123	141652		33333	サンプル　洋子	左	左眼	19651123	0	F
	20101117	142829		55555	サンプル　浩二	右	右眼	19500505	0	M
	20101117	142829		55555	サンプル　浩二	左	左眼	19500505	0	M
	20101117	143829		66666	サンプル　明	左	左眼	19581018	0	M
	20101117	143829		66666	サンプル　明	右	右眼	19581018	0	M
	20101117	142829		77777	テスト　次郎	右	右眼	19500505	0	M
	20101117	142829		77777	テスト　次郎	左	左眼	19500505	0	M
	20101117	141652		88888	テスト　花子	右	右眼	19651123	0	F
	20101117	141652		88888	テスト　花子	左	左眼	19651123	0	F
	20101117	142652		99999	サンプル　剛	右	右眼	19450811	0	M
	20101117	142652		99999	サンプル　剛	左	左眼	19450811	0	M

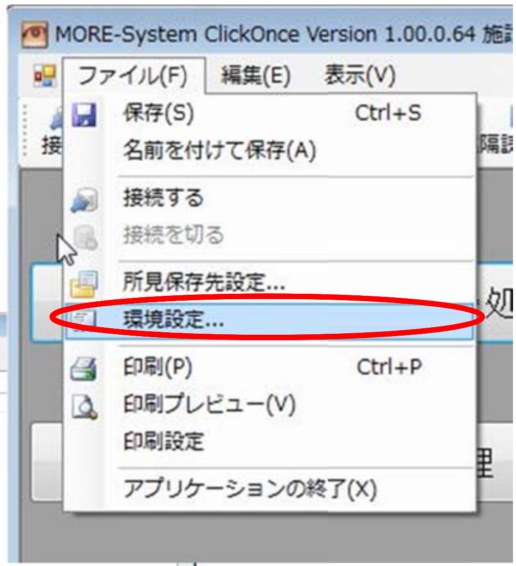
⑥　検査結果閲覧処理：MOREsystem サーバーに登録した眼底画像を閲覧する処理です。眼底画像の表示と読影結果である報告書を閲覧することが可能です。また遠隔診断でセカンドオピニオンを依頼することもできます。

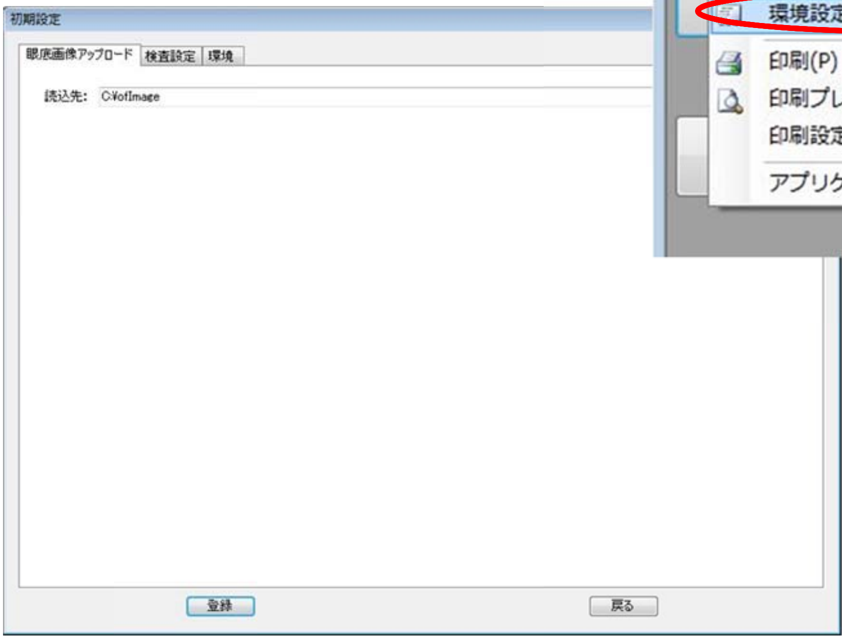


状態	検査日	検査時刻	受付番号	患者ID	患者氏名	性別	生年月日	年齢	区分	検査区分	依頼医
未読	2010/11/10	08:59:46		01111	未来　一郎	男	1958/10/28	52	診療	両眼	
承認済	2010/11/10	09:47:23		02222	将来　正明	男	1946/03/11	65	健診	両眼	
承認済	2010/11/10	09:49:23		03333	明日　未来	女	1973/08/25	37	健診	両眼	
読影済	2010/11/23	14:38:29		11111	テスト　太郎	男	1958/10/18	52	健診	両眼	
未読	2010/11/23	14:26:52		22222	テスト　三郎	男	1945/08/11	65	健診	両眼	
未読	2010/11/23	14:16:52		33333	サンプル　洋子	女	1965/11/23	45	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:28:29		55555	サンプル　浩二	男	1950/05/05	60	健診	両眼	
未読	2010/11/17	14:38:29		66666	サンプル　明	男	1958/10/18	52	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:28:29		77777	テスト　次郎	男	1950/05/05	60	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:16:52		88888	テスト　花子	女	1965/11/23	45	健診	両眼	
未承認	2010/11/17	14:26:52		99999	サンプル　剛	男	1945/08/11	65	健診	両眼	

3　環境設定

通常の場合この「環境設定」を操作する必要は有りません。
「4　眼底画像サーバー登録」へお進み下さい。
MOREsystem はインストールしてすぐに使用できるようにセッティングされています。設定は必要ありませんが、使用環境の変化などで設定内容の変更が必要な場合も考えられますので、内容についてご説明します。
メニュー画面のファイルメニューから「環境設定」を選択すると初期設定画面が表示されます。





3.1 眼底画像アップロード設定タブ

環境設定画面の一番左のタブで、ここで設定する項目「読込先」は、サーバーにアップロードして登録するための眼底画像をどのフォルダーから読み込むか指定します。眼底画像及び検査情報を取込むための重要な設定です。通常は最初の値「ofImage」のまま使用しますが、画像の取込先をネットワーク上の他の PC のフォルダーから取込む場合等は指定します。

① 最初の値「ofImage」を変更しますと画像が取込できずアップロードすることができなくなる事がありますので、充分にご注意下さい。

② 読込先：眼底カメラから画像及び検査情報ファイルが出力されるデータフォルダーを指定します。

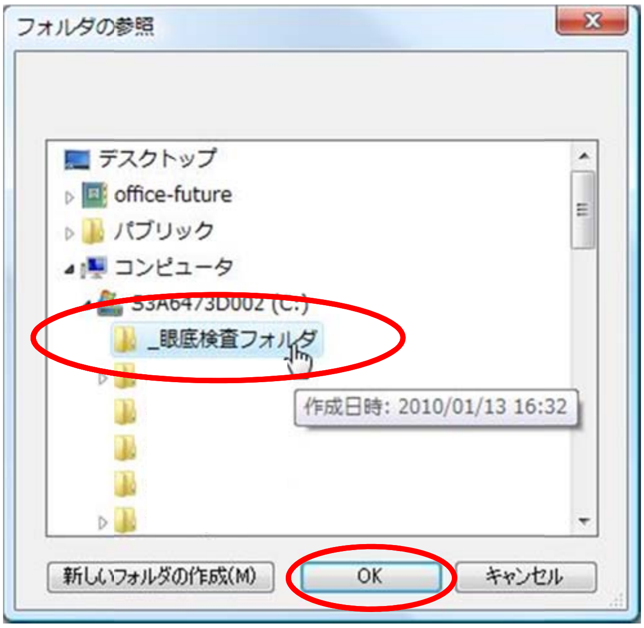
③ 一般的には眼底カメラに付属する画像管理アプリケーションが外部に画像及び検査情報ファイルを出力する場合、どこに出力するかフォルダー単位で設定しますが、MOREsystem では読込先としてこの眼底カメラ側から出力するフォルダーを指定することができます。

④ 例えば眼底カメラの画像管理アプリケーションが眼底検査の画像及び検査情報ファイルの出力先に「C ドライブ」の「_眼底検査フォルダ」という名称のフォルダーを指定した場合、ファイルメニューから「環境設定」を選択し「眼底画像アップロード」タブの読込先設定で「参照」ボタンをクリックします。

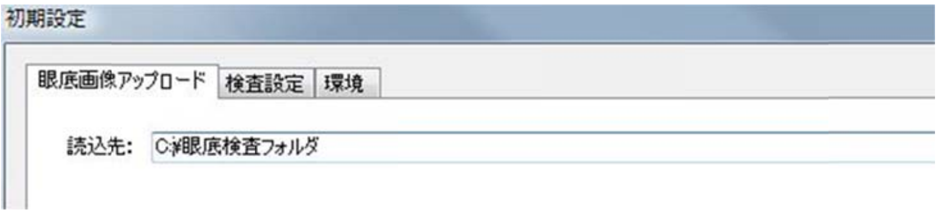


OFFICE FUTURE

⑤　フォルダーの参照ダイアログが開きますので、コンピュータの「C ドライブ」を開き、「眼底検査フォルダー」をクリックして「OK」ボタンをクリックします。



⑥　以下のように設定画面が表示されます。



3.2 検査設定タブ

真ん中のタブ検査設定タブではアプリケーションに関する情報を設定します。



①　使用場所コード：MOREsystem のクライアントを複数台使用する場合に各クライアントにコードを付けます。この値はお客様情報をご登録していただいた際に設定した値がそのまま表示されます。通常変更する必要は有りません。

②　使用場所：上記内容のコードに対応する名称です。この内容も上記同様ご登録の内容を表示します。通常変更する必要は有りません。

③　所属：特に設定する必要はありませんが、必要な場合は貴施設名を入力します。

④　診療区分：眼底検査の区分に関してデフォルト値を設定します。主にどちらの区分で使用されるか多い方を設定します。各検査において区分の変更は後でも変更することが可能です。

⑤　印刷時のビューアー表示：MOREsystem では各画面においてデータを印刷(ハードコピー)することができます。これら 3 種類の印刷を行う際にプリンタに直接印刷することもできますが、一旦モニター上にビューアー表示して内容を確認した上で印刷することも可能です。その場合各印刷欄前のチェックボックスをクリックしてチェックマークを表示しておきます。

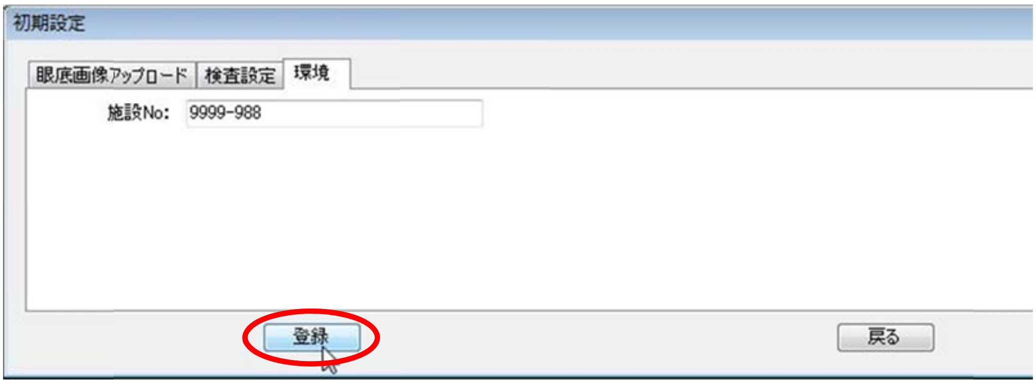
1. 画像ビューアーでは眼底画像の印刷ができます：L 版印刷検査結果
2. 検査結果一覧表では検査報告書の一覧表印刷ができます：一覧表印刷
3. 画像ビューアーでは画像付き報告書の印刷ができます：写真付印刷

3.3 環境タブ及び初期設定値の保存

① 一番右の環境タブではお客様情報登録で登録していただいた診療機関番号がそのまま表示されます。通常の場合、施設 No,を変更することは有りません。

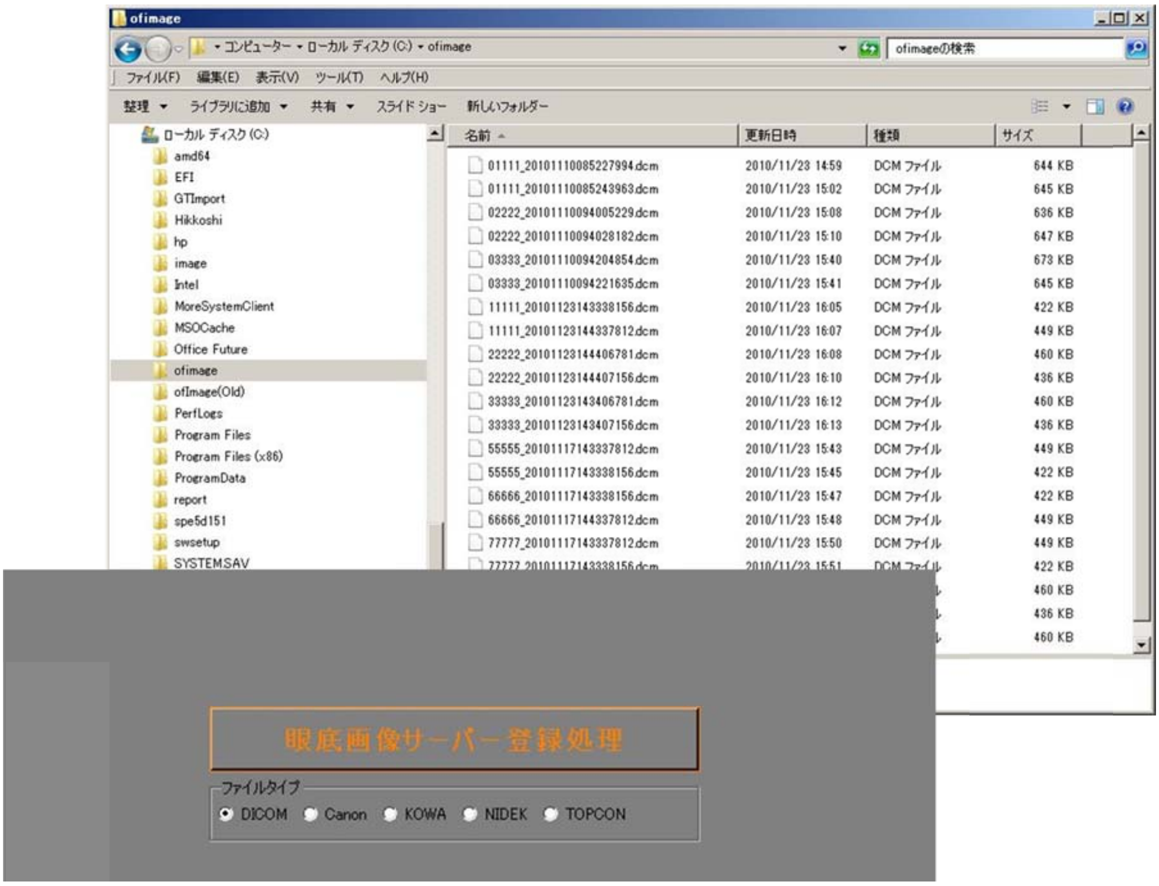


② 各初期設定タブの値を変更したら最後に「登録」ボタンをクリックします。



4　眼底画像サーバー登録

まず眼底画像を取込んでみましょう。最初にＰＣのＣドライブの直下に｢ofimage｣というフォルダ



があることを確認していただきます。このフォルダ内にサーバーに登録したい眼底画像及び検査情夫ファイルあるいは読影依頼したい眼底画像及び検査情報ファイルをコピーします。検査情報ファイルとは眼底カメラメーカー毎に仕様は異なりますが、画像と対になる検査あるいは被検者様の情報が収納されたファイルのことです。一般的には眼底画像を保存するときに一緒に作られます。眼底カメラに付属する画像を取り込む為のソフト(キャプチャーソフト)が日付単位にフォルダを作り、このフォルダ内に画像及び検査情報ファイルを作成する場合は日付フォルダごとコピーします。次に｢眼底画像サーバー登録処理｣ボタンの下のファイルタイプで眼底カメラメーカーを指定します。DICOM 画像の場合はメーカーの指定は不要で｢DICOM｣をクリックします。メーカーの指定が終わったら｢眼底画像サーバー登録処理｣のボタンをクリックすると眼底画像アップロード一覧表が表示されます。画像の取込方法として二通りあります。全ての眼底検査が終了または個々の眼底検査が終了したタミングで行う手動取込と、眼底カメラのシステムが出力するデータをシステムが判断して自動的に取込む自動取込です。



状態	検査日	検査時刻	受付番号	患者ID	氏名	左右眼	検査区分	生年月日	年齢	性別
	20101123	143829		11111	テスト 太郎	左	左眼	19581018	0	M
	20101123	143829		11111	テスト 太郎	右	右眼	19581018	0	M
	20101123	142652		22222	テスト 三郎	右	右眼	19450811	0	M
	20101123	142652		22222	テスト 三郎	左	左眼	19450811	0	M
	20101123	141652		33333	サンプル 洋子	右	右眼	19651123	0	F
	20101123	141652		33333	サンプル 洋子	左	左眼	19651123	0	F
	20101117	142829		55555	サンプル 浩二	右	右眼	19500505	0	M
	20101117	142829		55555	サンプル 浩二	左	左眼	19500505	0	M
	20101117	143829		66666	サンプル 明	左	左眼	19581018	0	M
	20101117	143829		66666	サンプル 明	右	右眼	19581018	0	M
	20101117	142829		77777	テスト 次郎	右	右眼	19500505	0	M
	20101117	142829		77777	テスト 次郎	左	左眼	19500505	0	M
	20101117	141652		88888	テスト 花子	右	右眼	19651123	0	F
	20101117	141652		88888	テスト 花子	左	左眼	19651123	0	F
	20101117	142652		99999	サンプル 剛	右	右眼	19450811	0	M
	20101117	142652		99999	サンプル 剛	左	左眼	19450811	0	M

4.1　手動取込

① まず検索条件を設定します。通常は当日の日付が表示されていますので、そのまま「再表示」



能です。また範囲指定で検索する場合は左側の日付欄の先頭の□をクリックしてチェックマークを付けて、同様に日付を指定します。例えば 2010 年 11 月 1 日～2010 年 11 月 30 日までの範囲で検索する場合次のように指定します。



次に上記同様「再表示」ボタンをクリックすると検索範囲内の画像情報の一覧表が表示されます。

② 内容を確認して「全て登録」ボタンをクリックします。



③ アップロードが完了した検査は一覧表の状態欄が「済み」と表示されます。もし一旦アップロードした検査を再度アップロードしたい場合、あるいは眼底画像を一件毎に手動でアップロードしたい場合は当該検査画像をクリックしてハイライトさせ「登録」ボタンをクリックしますと、一件ずつアップロードすることが可能です。



4.2　自動取込

「4.1」項では手動で眼底画像を取込む方法についてご説明しました。これは一日毎または眼底検査終了後まとめて取込む場合等に大変便利な方法です。しかし診察室で患者様に先生より直接説明される場合などリアルタイムに画像を取得して MOREsystem で当該患者様の眼底検査終了直後に診察室のモニターに表示させることも可能です。眼底カメラより出力された画像データを自動で取込む方法についてご説明します。



① 眼底画像アップロード一覧表が表示されたら、「自動アップロード」欄をクリックします。プルダウンメニューが表示されますので、適当な間隔で自動処理する項目を選択します。選択するとすぐにフォルダーの監視を開始します。

② 指定されたフォルダーを指定された間隔で監視し眼底カメラシステムあるいは手動により指定フォルダーに画像データが保存された場合、自動処理にて画像データをサーバーに自動的にアップロードします。自動アップロードの処理は「眼底画像サーバー登録処理」画面を開いている間のみ有効です。メニュー画面や「検査結果閲覧処理」を行っている場合は処理されませんのでご注意ください。

③ 画像がサーバーに登録されますと手動処理の場合と同様、一覧表左端の状態項目に「済み」という文字が表示されます。アップロードファイルの一覧表では画像単位で表示されますが、画像がアップロードされたサーバーでは日付単位、患者様単位でファイリングします。

④ 処理が終了したら「戻る」ボタンまたは右上の一覧表のクローズボックスをクリックして処理を終了し、メニュー画面に戻ります。ウィンドウのクローズボックスをクリックしますとMOREsystemのアプリケーションが終了してしまいますのでご注意ください。その場合はWeb



ブラウザーのMOREsystemのホームページから再度起動するか、スタートメニューのプログラムから「MOREsystem」を選択して起動します。

5 検査結果一覧表：眼底画像および報告書閲覧・入力機能、読影依頼機能

5.1 検査結果一覧表



メニュー画面において｢検査結果閲覧処理｣ボタンをクリックすると次の様な一覧表が表示されます。一覧表は自動的に表示の更新がされませんので一覧表を表示したままある程度の時間が経過した場合は｢再表示｣ボタンをクリックして下さい。特に｢サーバー登録処理｣で自動アップロード処理を選択している場合は、順次新たな画像(検査)がサーバーにアップロードされている事が考えられますので、｢再表示｣ボタンをクリックして確認をして下さい。一覧表上の当該検査をクリックして「検査結果表示」ボタンをクリックするか、当該検査をダブルクリックしますと眼底画像を閲覧することが出来ます。



状態	検査日	検査時刻	受付番号	患者ID	患者氏名	性別	生年月日	年齢	区分	検査区分	依頼医
未読	2010/11/10	08:59:46		01111	未来　一郎	男	1958/10/28	52	診療	両眼	
承認済	2010/11/10	09:47:23		02222	将来　正明	男	1946/03/11	65	健診	両眼	
承認済	2010/11/10	09:49:23		03333	明日　未来	女	1973/08/25	37	健診	両眼	
読影済	2010/11/23	14:38:29		11111	テスト　太郎	男	1958/10/18	52	健診	両眼	
未読	2010/11/23	14:26:52		22222	テスト　三郎	男	1945/08/11	65	健診	両眼	
未読	2010/11/23	14:16:52		33333	サンプル　洋子	女	1965/11/23	45	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:28:29		55555	サンプル　浩二	男	1950/05/05	60	健診	両眼	
未読	2010/11/17	14:38:29		66666	サンプル　明	男	1958/10/18	52	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:28:29		77777	テスト　次郎	男	1950/05/05	60	健診	両眼	
依頼中	2010/11/17	14:16:52		88888	テスト　花子	女	1965/11/23	45	健診	両眼	
未承認	2010/11/17	14:26:52		99999	サンプル　剛	男	1945/08/11	65	健診	両眼	

5.2 画像閲覧及び所見入力(報告書作成)

5.2.1　検査情報

画像閲覧画面では患者情報及び検査情報の表示と代表画像(主に読影する画像)の表示、それ以外の眼底画像(参考画像)の表示切替えを行うことが可能です。また「◀」、「▶」（検査送り）ボタンをクリックすると検査結果一覧表に戻らずに直接一覧表上の｢次｣あるいは｢前｣の検査画像を閲覧することが可能です。



5.2.2　画像処理表示機能

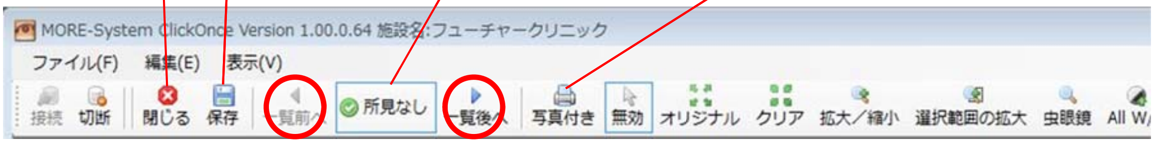
デジタル眼底画像はアナログ画像と異なり撮影後も画像処理を加えて現画像より見やすい画面を表示することが出来ます。ビューアー画面で使用する各ボタン・アイコンについて説明します。

「閉じる」ボタン
ビューアーを閉じて一覧表に戻りま

「保存」ボタン
ビューアー・報告書上で変更した内容を保存します

「所見なし」ボタン
所見が無い眼底画像(正常眼)の場合、このボタンを押すと所見なしの報告書が簡単に作成できます。

「写真付き」ボタン
現在閲覧している検査の写真付き報告書を印刷することができます



「無効」ボタン
現在選択している画像処理の機能を無効にします

「オリジナル」ボタン
このボタンをクリックしてから画像をクリックすると拡大率100%(原寸)で表示されます

「クリア」ボタン
このボタンをクリックしてから画像をクリックするといろいろと画像処理した画像表示を初期状態に戻すことができます



「拡大縮小」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスを上下にドラッグすると画像を拡大・縮小することができます

「選択範囲の拡大」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスをドラッグして範囲指定するとウィンドウいっぱいに拡大します

「虫眼鏡」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスをドラッグするとポインタ周辺の特定範囲のみ拡大して表示します



「ALL W/L」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスを左右・上下にドラッグすると現在表示している画像の明度・輝度を同時に変更することができます

「W/L」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスを左右・上下にドラッグすると明度・輝度を変えることができます

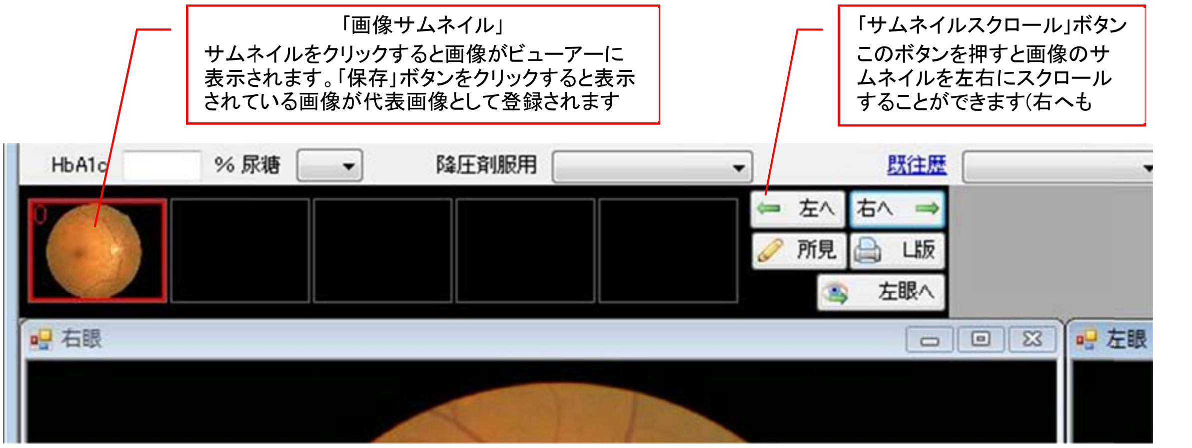


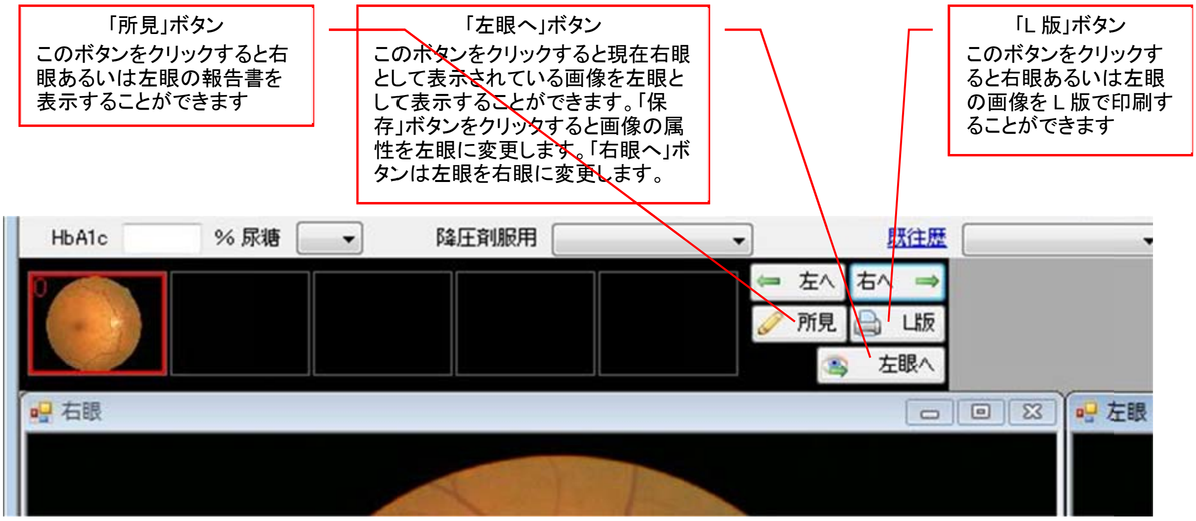
「つかむ」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスを左右・上下にドラッグすると画像を画面内で自由に移動することができます

「クリック位置へ」ボタン
このボタンをクリックしてから画像の上でマウスをクリックしますとクリックした場所がウィンドウの中心に移動して画像を表示します

「承認済み」ボタン
報告書の内容を承認します。承認済みにした後の変更はできません



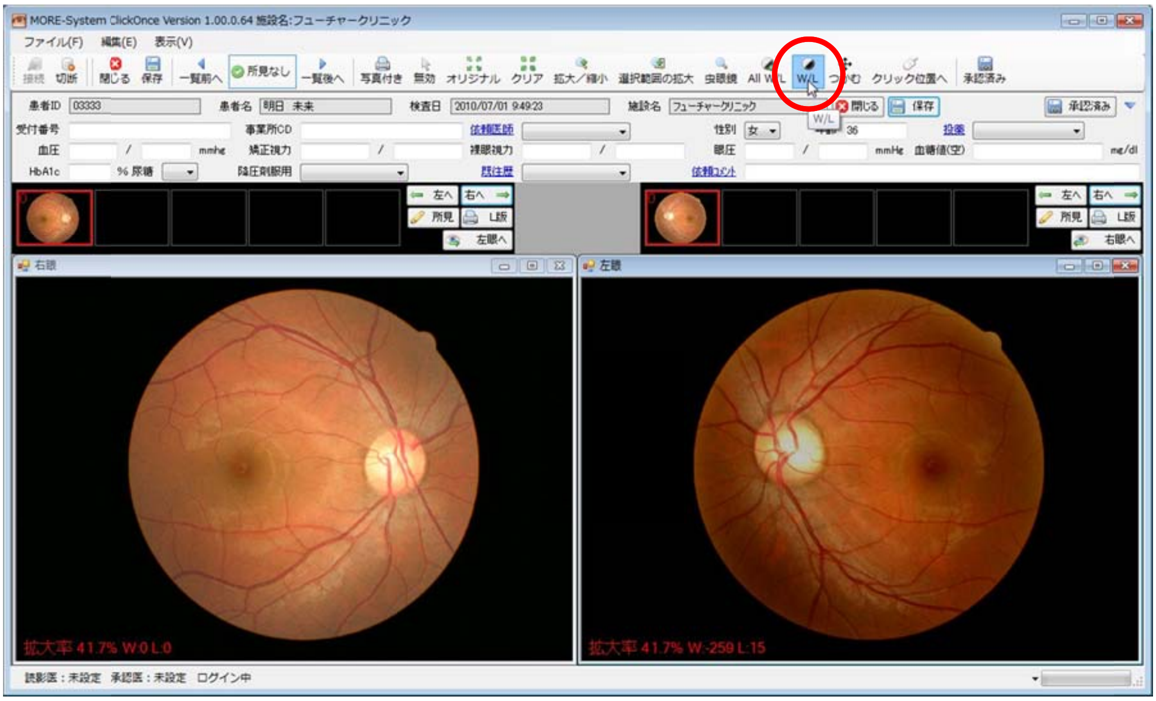




① 輝度・明度調整

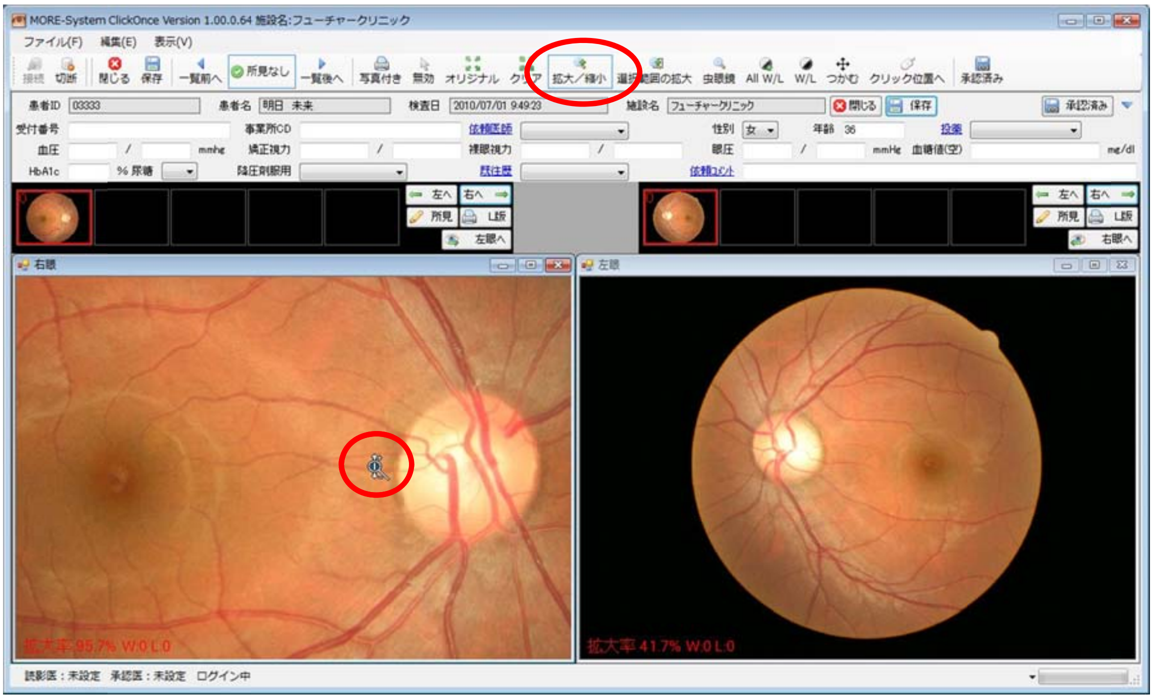
画像全体の輝度と明度をマウスを利用して変更することができます。

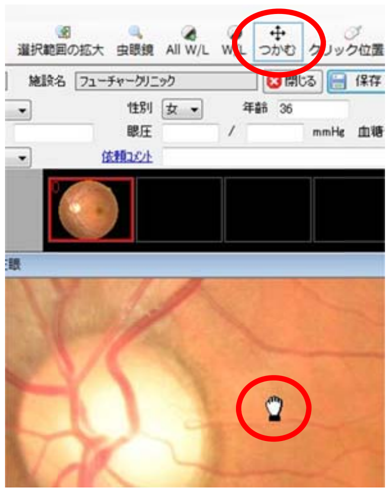
「W/L」ボタンを押します。マウスを当該画像の上で上下方向にドラッグすると明度を変更できます。マウスを左右方向にドラッグすると輝度を変更できます。「ALL W/L」ボタンをクリックしますと左右眼の輝度・明度を同時に同じ値で変更することができます。初期状態に戻すには「クリア」ボタンをクリック後、各画像をクリックします。

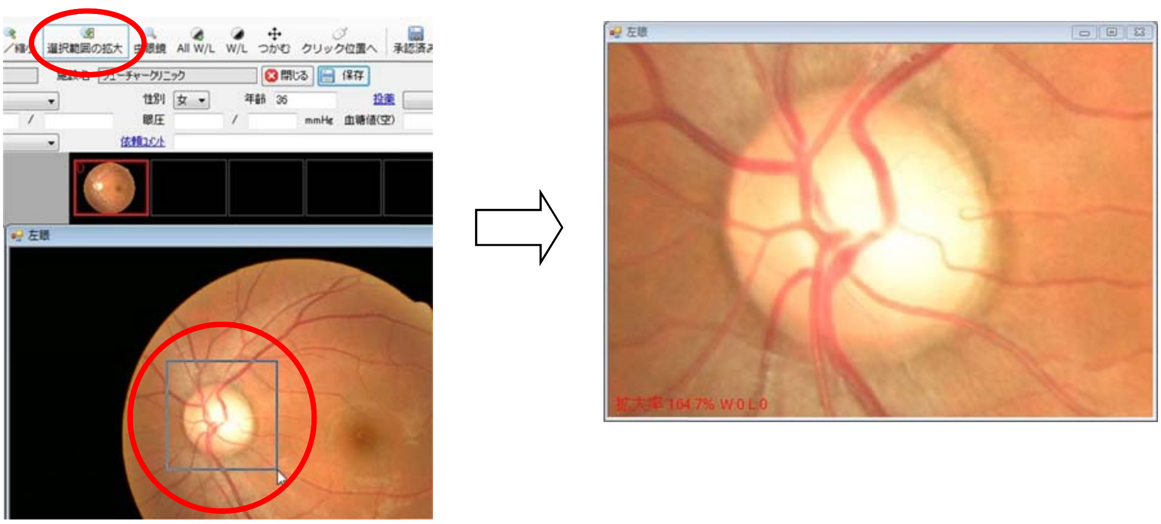


② 拡大・縮小

画像は両眼とも画像の全体像が閲覧できるよう自動的に調整して表示されますが、拡大したり縮小して表示することも可能です。マウスを利用して自由に大きさを変更できます。「拡大/縮小」ボタンをクリックし画像上でマウスを上ドラッグすると画像が拡大、下にドラッグすると画像が縮小します。拡大した場合、画面上で表示されていない部分を閲覧するには「つかむ」ボタンをクリックし、画面上でマウスをドラッグすると画像を自由に動かして表示させることが可能です。初期状態に戻すには「クリア」ボタンをクリック後各画像をクリックしてください、自動表示サイズに戻ります。また「オリジナル」ボタンをクリックして拡大したい画像をクリックすると拡大率 100%(原寸)の画像を表示することができます。「選択範囲の拡大」ボタンをクリックして画像の拡大したい部分をドラックして四角で囲むと囲んだ部分がウィンドウ枠いっぱいに拡大して表示されます。

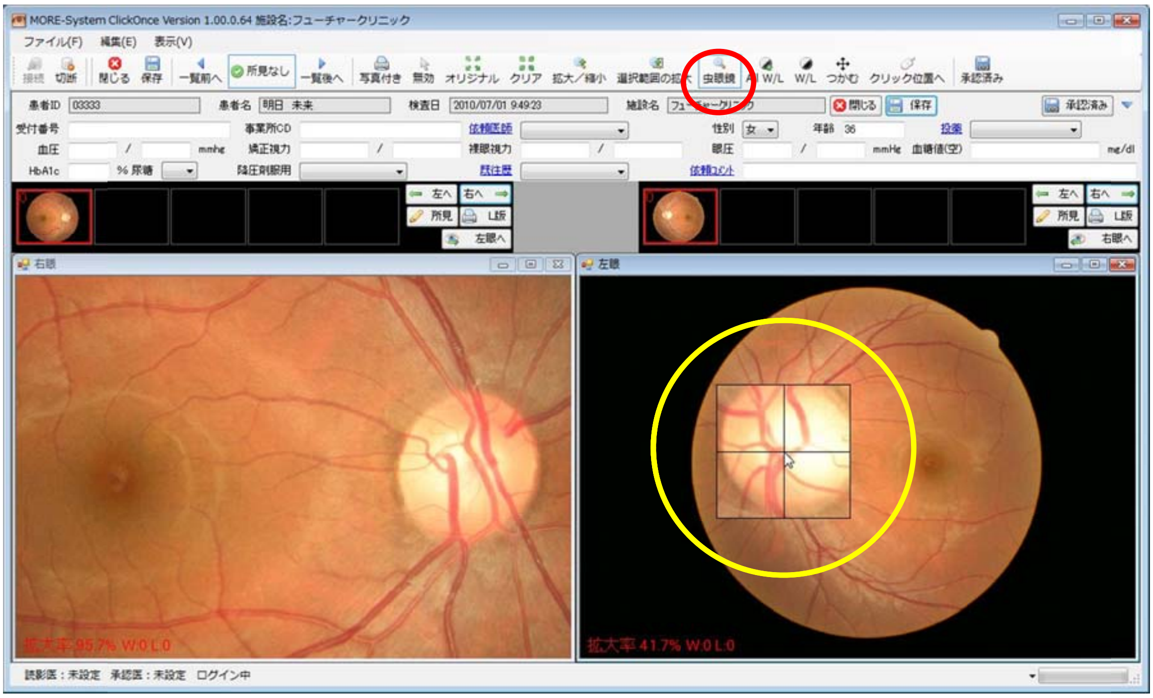






③　虫眼鏡（部分拡大）機能

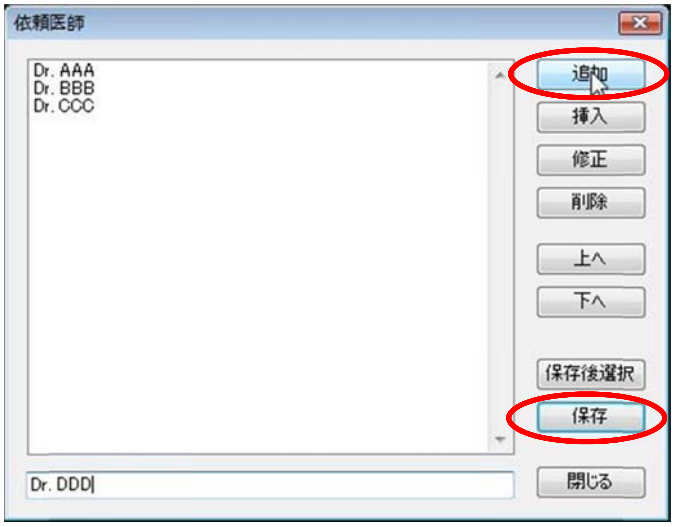
所見部と思われる個所を部分的に拡大して表示しますので、全体像を見ながら拡大画像を閲覧することが可能です。「虫眼鏡」をクリックし部分拡大したい画像でマウスをドラッグすると四角い枠内が拡大しますので必要部位にポイントします。



5.2.3 検査項目の入力

MOREsystem では眼底検査に付属する検査情報やその他の診療情報を入力して管理することができます。また青字名の項目は内容の事前登録が可能で、登録内容から選択して入力することができます。登録できる項目には 2 タイプあります。プルダウンタイプとキーボード入力タイプです。

①　プルダウン入力項目事前登録：検査情報欄の「依頼医師」の項目名をクリックしますとダイアログウィンドウが表示されます。右図のように一番下の入力欄に追加したい内容を入力して「追加」ボタンをクリックしますとプルダウン一覧表に追加されます。追加が終了したら最後に「保存」ボタンをクリックして登録完了です。次回より投薬欄のプルダウンボタンをクリックすると登録内容がプルダウン表示されます。プルダウン入力項目は事前に内容を登録しませんと入力が出来ませんのでご注意ください。「依頼医師」、「投薬」、「既往歴」の三項目が該当します。登録・修正・削除した場合は必ず「保存」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。



②　キーボード入力タイプ：「依頼コメント」欄の内容の事前登録方法は上記プルダウン入力項目と同様です。「依頼コメント」欄への入力はプルダウンとキーボードの両方が併用できます。またプルダウンは複数の項目選択が可能ですので、いろいろな内容を事前に登録しておけばキーボートからの入力回数を少なくすることができます。登録・修正・削除した場合は必ず「保存」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

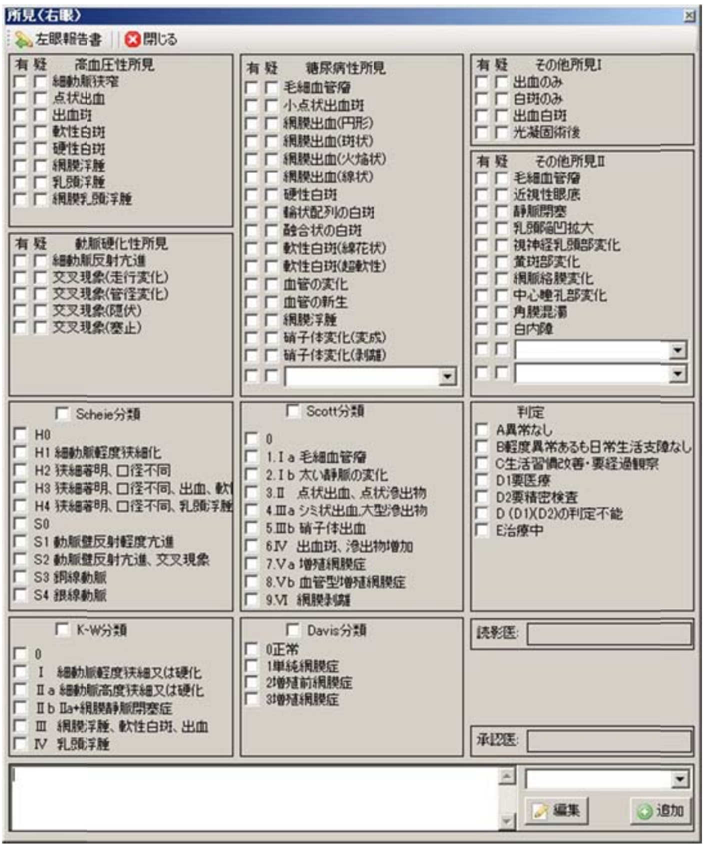
5.2.4 所見入力(報告書作成)

閲覧した画像の読影結果を残したい場合は所見画像側の「所見」ボタンをクリックします。



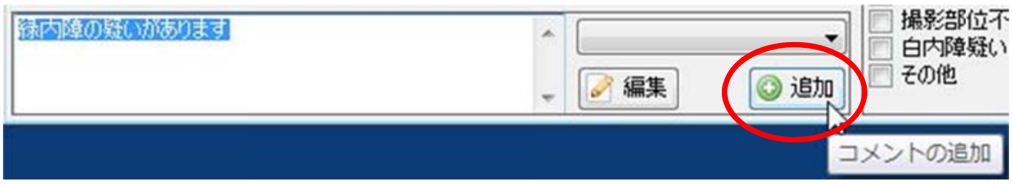
右の様な所見項目等入力項目がある報告書(所見)が表示されますので、必要項目を入力します。報告書には健診用報告書と診療用報告書の二種類があります。入力は各四角(チェックボックス)をマウスでクリックしますと「レ」マークが入力されます。取り消す場合は再度クリックしてください。

① 所見
② 病名（診療用報告書のみ）
③ Scheie 分類
④ K-W 分類
⑤ 福田分類
⑥ Scott 分類
⑦ Davis 分類
⑧ 措置(診療用報告書のみ)
⑨ 判定(健診用報告書のみ)
⑩ 撮影へのコメント
⑪ コメント:コメント欄はキーボードから入力できますが、それ以外によく使うフレーズ(定型文)を登録しておくことができます。登録したフレーズを組合せて文章にすることも可能です。コメント欄上でいったん入力し登録したいフレーズをマウスドラッグで選択し「コメントの追加」ボタンをクリックすれば完了です。「選択するとコメント欄にコピーされます」(プルダウン)ボタンを押すと追加したフレーズがポップアップ表示されます。登録内容を修正・削除する場合は「コメントの編集」ボタンをクリックします。 入力方法等は前項「検査項目の入力」と同様です。 登録・修正・削除





した場合は必ず「保存」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。



⑫ 読影医：読影された先生のお名前は必ず入力します。アプリケーションを起動しますと、最初の検査読影時はブランクとなっていますので、先生のお名前をポップアップから選択します。それ以降はアプリケーションを終了するまで最初に入力されたお名前がデフォルトで入力されます。

⑬ 承認医：読影された結果を承認された先生のお名前を入力します。

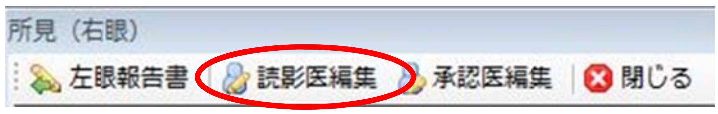
⑭ もう一方の眼の所見を入力する場合は左上の「報告書の切替え」ボタンをクリックすると他眼の報告書画面が表示されますので同様に入力します。

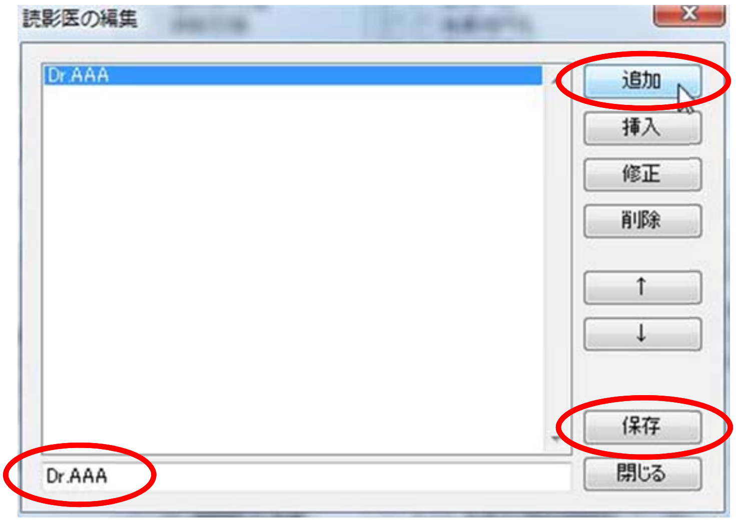


⑮ 左右眼の所見内容入力が終了したら「閉じる」ボタンをクリックして報告書画面を閉じます。



⑯ 読影医・承認医の編集・追加：報告書ウィンドウの左上の「読影医(承認医)編集」ボタンをクリックすると読影医(編集医)のお名前を追加したり編集したり削除することができます。ダイアログウィンドウが表示されます。右図のように入力欄に追加したい内容を入力して「追加」ボタンをクリックしますとプルダウン一覧表に追加されます。追加が終了したら最後に「保存」ボタンをクリックして登録完了です。次回より読影医欄のプルダウンボタンをクリックすると登録内容がプルダウン表示されます。プルダウン入力項目は事前に内容を登録しませんと入力が出来ませんのでご注意ください。登録・修正・削除した場合は必ず「保存」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。



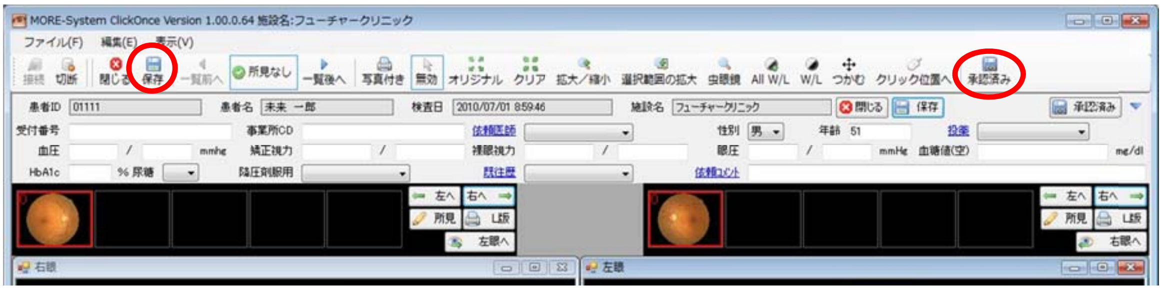


5.3 報告書保存と読影依頼

5.3.1 報告書の保存

① 報告書の入力が終了したら内容を保存する為にビューアー画面の「保存」ボタンまたは「承認済み」ボタンをクリックします。「保存」ボタンと「承認済み」ボタンは機能が異なりますのでご注意下さい。

② 「保存」ボタンをクリックすると報告書内容を保存、検査結果一覧表上で読影状態が「未承認」と表示されます。再度閲覧した場合、所見内容等を変更することが可能です。

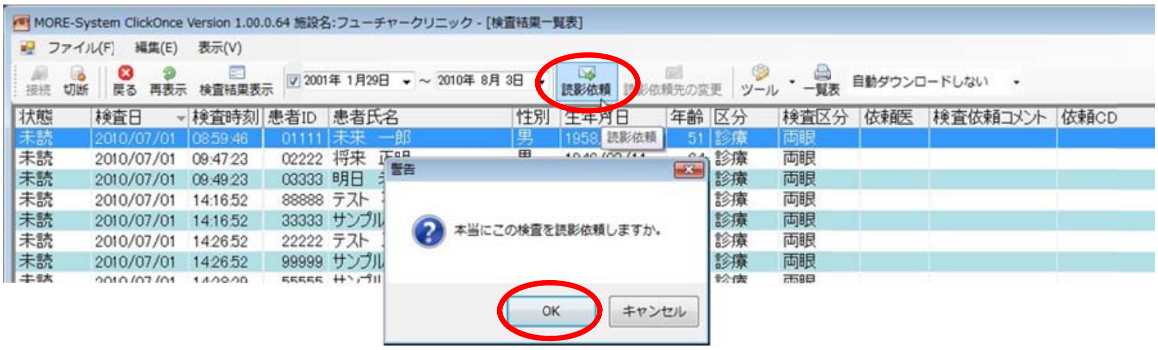


③ 「承認済み」ボタンをクリックすると報告書内容を保存、検査結果一覧表上で読影状態が「承認済」と表示されます。再度閲覧した場合画像及び報告書の閲覧は可能ですが、所見内容も含め全ての内容を変更することは不可となります。

④ ツールバー上の「閉じる」・「保存」・「承認済み」各ボタンと検査情報欄の「閉じる」・「保存」・「承認済み」各ボタンは全く同じ機能です。どちらからも操作可能です。

5.3.2 検査結果一覧表からの読影依頼

専門眼科医に眼底検査画像の読影を依頼する場合は検査結果一覧表から依頼します。読影状態が「未読」、「未承認」の検査において一覧表の当該検査行をクリックしてハイライトさせます。この状態で一覧表上部の「読影依頼」ボタンをクリックすると読影依頼する読影依頼するかしないかダイ



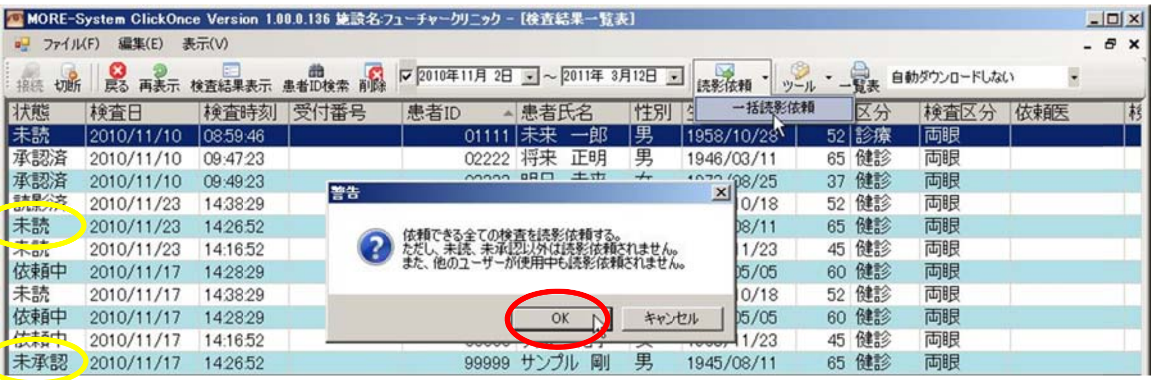
アログボックスが表示されますので、読影依頼する場合は「OK」を、しない場合は「キャンセル」をクリックします。「OK」をクリックした場合は読影センターに読影依頼され、契約書で定められた



期間内に読影されます。読影依頼された検査は状態欄の表示が「依頼中」に変わります。

5.3.3 検査結果一覧表からの一括読影依頼

前項では一件づつ読影依頼しますが、人間ドックなど検査数の多い施設では作業時間がかかって



しまいます。そこで当日の検査を一括して読影依頼する機能があります。一覧表に表示されている検査のうち「状態」が「未読」と「未承認」の検査に関して一括して読影依頼します。「読影依頼」ボタンの横の「▼」をクリックして「一括読影依頼」をクリックします。確認のためのダイアログが表示さ

れますので、「OK」をクリックすると一括読影依頼作業を実施します。読影依頼作業が終了しますと、以下のように「状態」が「依頼中」に変わります。



5.3.4 ビューアーからの読影依頼(現在この機能は開発中です)

画像ビューアーから専門眼科医に眼底検査画像の読影を依頼することもできます。この場合はビューアー上の「読影依頼」ボタンをクリックします。検査結果一覧表上で読影状態は「依頼中」となります。

5.4 画像データの新規取得及び更新

「5.1 検査結果一覧表」で一部ご説明しましたが、「検査結果一覧表」では表示内容を自動で更新することは出来ません。従って一覧表の表示内容を最新の情報に書き換えるには 「再表示」ボタンをクリックして更新します。新たに検査結果一覧表を表示した場合や個別の検査内容を閲覧した後検査結果一覧表を表示した場合は最新情報に更新されます。

5.5 読影結果の取得

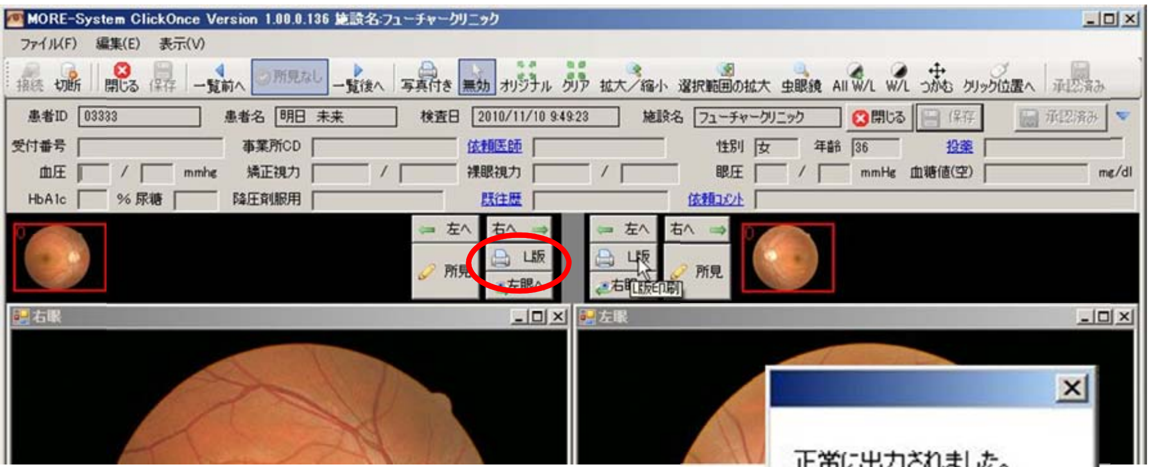
「5.3 報告書保存と読影依頼」で読影依頼した場合、結果を表示するには 「再表示」ボタンをクリックします。また上記「5.4 画像データの新規取得及び更新」同様、新たに検査結果一覧表を表示した場合や個別の検査内容を閲覧した後検査結果一覧表を表示した場合も自動的に読影結果が表示されます。読影依頼した検査が読影結果(検査結果報告書)を取得した場合、更新後一覧表上の状態欄が「依頼中」から「読影済」に更新されます。ビューアーを開いて報告書を開きます。

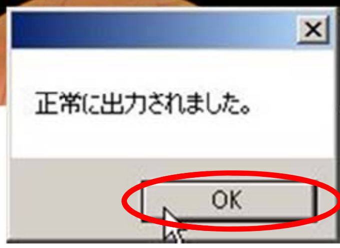
6　画像や報告書の出力

MOREsystem ではサーバーに登録されている眼底画像や報告書の内容を出力することが出来ます。

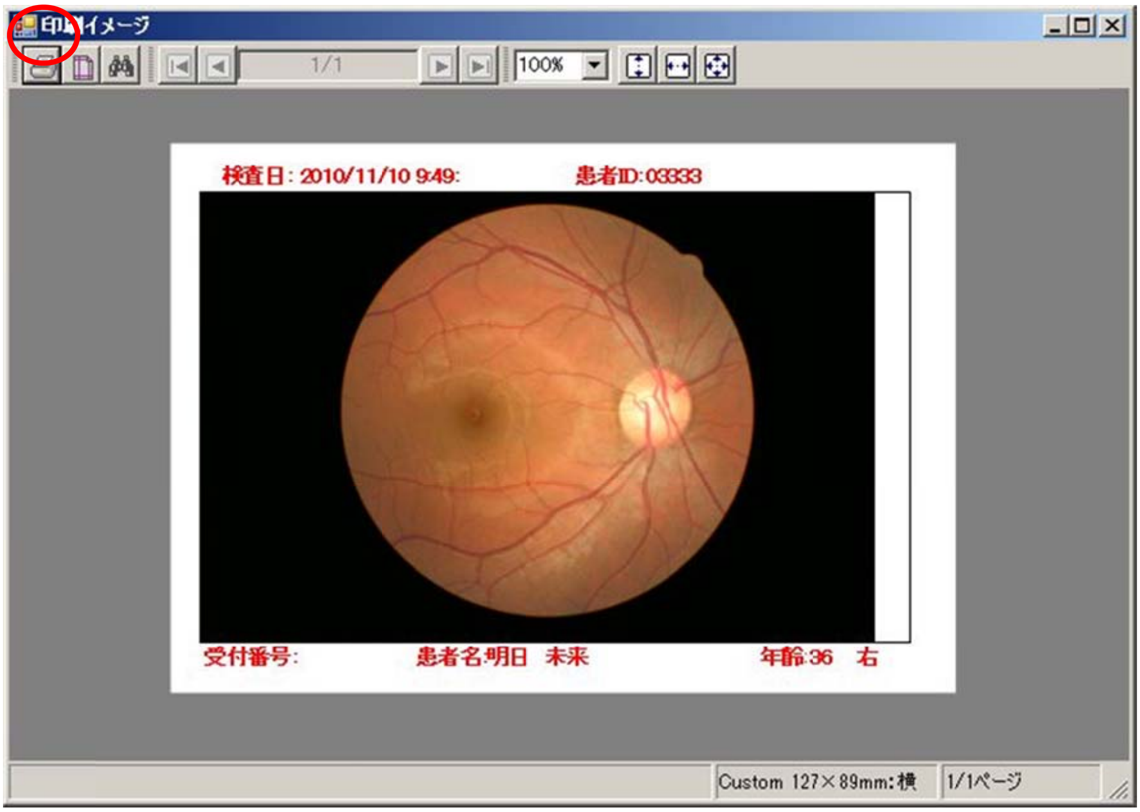
・眼底画像→プリント出力
・画像付報告書→プリント出力
・報告書一覧表→プリント出力

6.1　眼底画像の出力

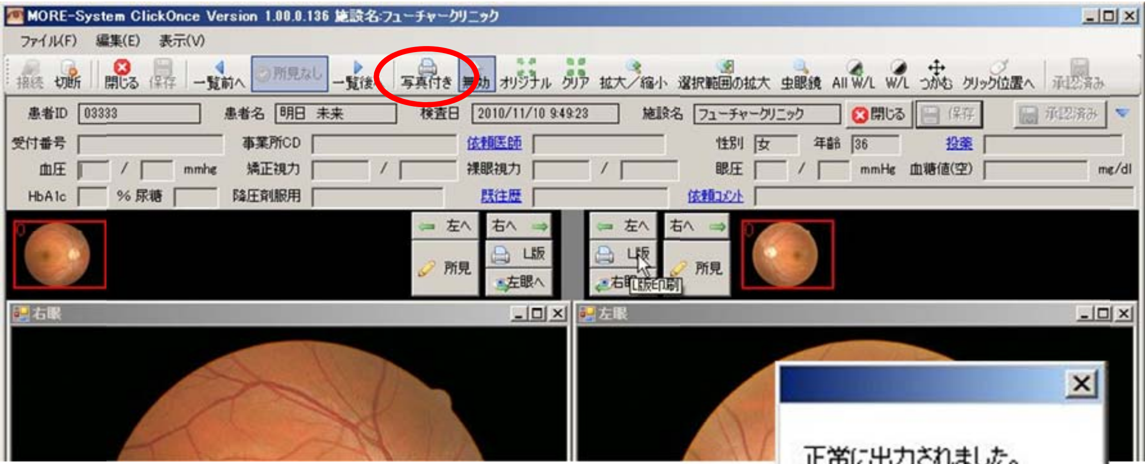


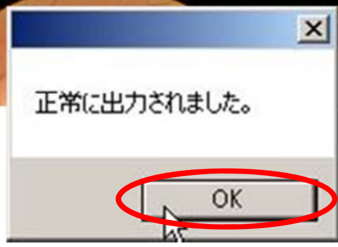


メイン画面から「検査結果閲覧処理」を選択し「検査結果一覧表」が表示されたら等が検査を選択しビューアーを表示します。プリントアウトしたい画像の「L 版」ボタンをクリックします。右のようなダイアログボックスが表示されますので、「OK」をクリックします。印刷イメージウィンドウが表示されますので、印刷ボタンをクリックするとプリント出力されます。実際に出力するプリンタはプリンタ設定でデフォルト指定したプリンタに印刷されます。デフォルトプリンタとして PDF を指定すれば PDF ファイルとして出力します。

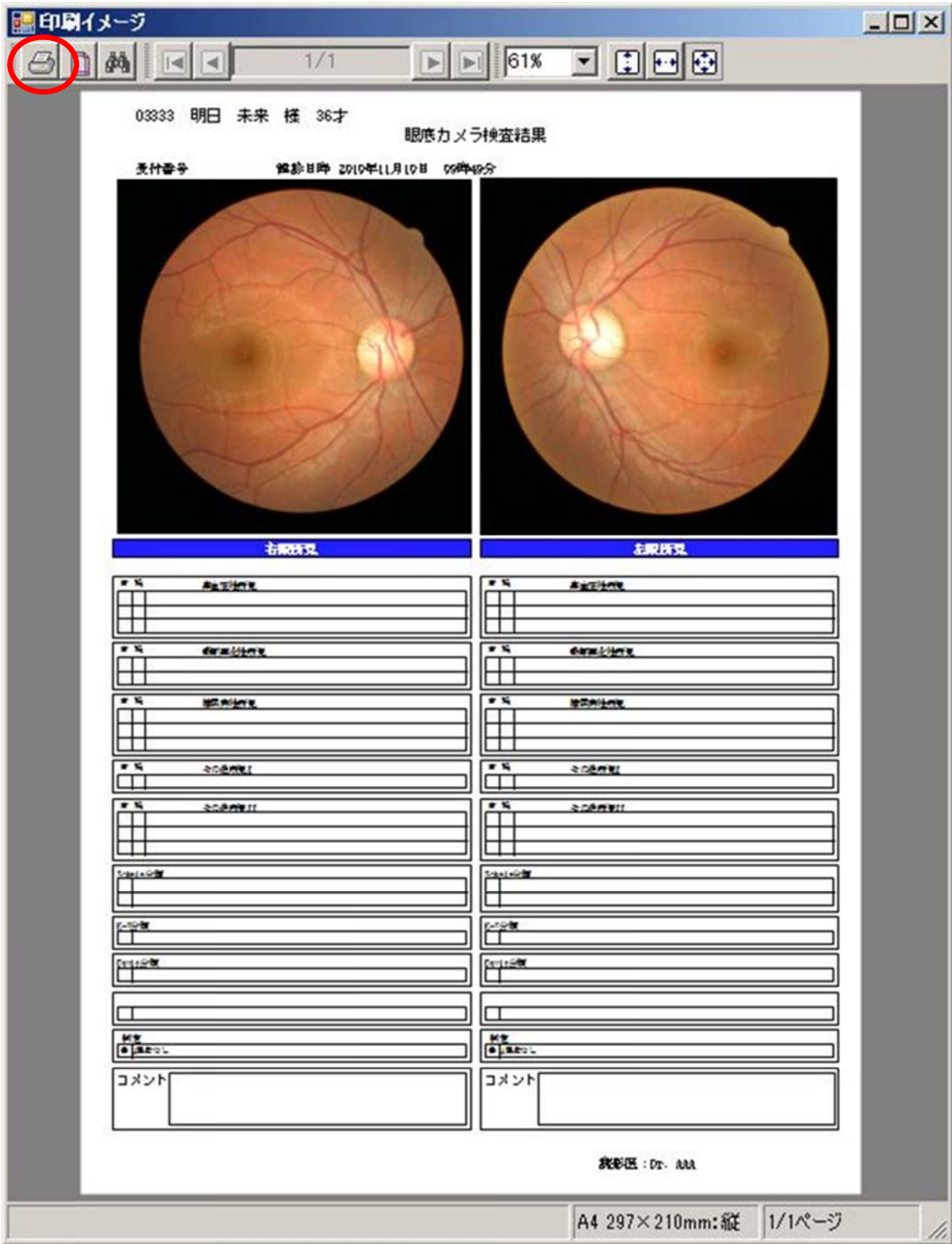


6.2 画像付報告書の出力





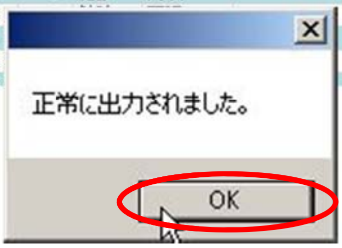
メイン画面から「検査結果閲覧処理」を選択し「検査結果一覧表」が表示されたら「写真付き報告書」を出力したい検査を選択しビューアーを表示します。「写真付き」ボタンをクリックします。右のようなダイアログボックスが表示されますので、「OK」をクリックします。印刷イメージウィンドウが表示されますので、印刷ボタンをクリックするとプリント出力



されます。実際に出力するプリンタはプリンタ設定でデフォルト指定されたプリンタに印刷されます。デフォルトプリンタとして PDF を指定すれば PDF ファイルとして出力します。

6.3　報告書一覧表の出力





メイン画面から｢検査結果閲覧処理｣を選択し｢検査結果一覧表｣が表示されたら｢一覧表｣をクリックします。右のようなダイアログボックスが表示されますので、｢OK｣をクリックします。印刷イメージウィンドウが表示されますので、印刷ボタンをクリックするとプリント出力されます。実際に出力するプリンタはプリンタ設定でデフォルト指定されたプリンタに印刷されます。デフォルトプリンタとして PDF を指定すれば PDF ファイルとして出力します。



7　眼底画像・検査報告書データのバックアップ処理

MOREsystem ではクラウドシステムを採用している為、眼底画像や検査報告書等のデータは全てセンターサーバーに保存されていますが、インターネット回線障害等によりお客様よりサーバーに接続できない状態が想定されます。その様な場合に眼底画像や報告書を閲覧する為、予め眼底画像データと報告書データをローカルにバックアップすることが出来ます。インターネット回線障害によりサーバーにアクセスできない場合のデータ閲覧方法について説明します。このバックアップ処理はデータの安全性を確保するものではありませんので、必要不可欠な処理ではありません。サーバーにおいては二重にデータのバックアップを行い安全性を確保しています。クライアントサイトにおけるバックアップはあくまでも回線障害による閲覧ができない場合を想定した処理となります。

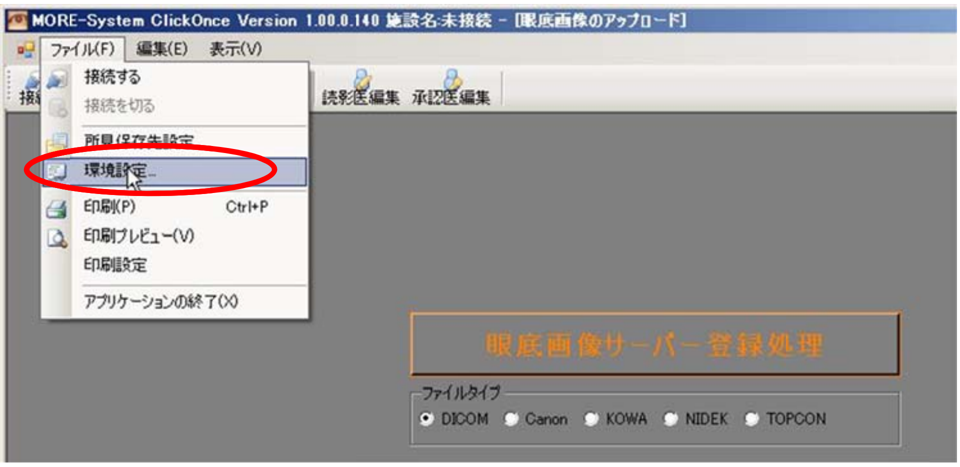
7.1　データバックアップ方法

メイン画面から「検査結果閲覧処理」をクリックして検査結果一覧表を表示します。メニューバー



の右端の「自動ダウンロードしない」と表示されているプルダウンから例えば「5 分間隔でダウンロード」を選択します。選択しますと 5 分毎に現在検索表示されている眼底画像データおよび検査報告書データがローカル(アクセスしている PC)にデータがバックアップされます。一度バックアップされたデータは状態が変化したり、報告書内容が更新されない限り 2 回目以降再度バックアップはされません。したがって一度自動ダウンロードを設定すると、毎日のデータが自動的にバックアップされます。バックアップの必要がない場合は「自動ダウンロードしない」を選択してください。

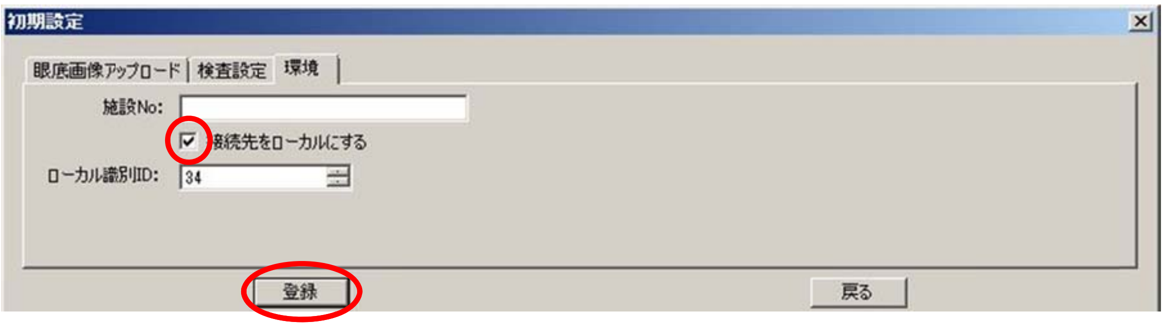
7.2　データ閲覧方法



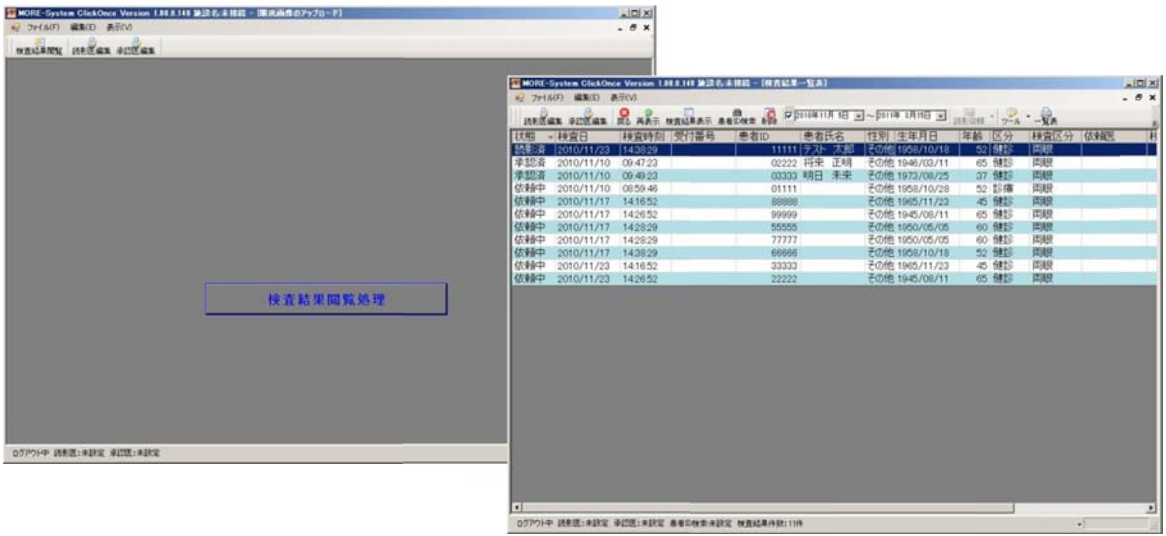
①. メインメニュー画面のファイルメニューから「環境設定」を選択します。
②. 初期設定画面が表示されますので、「環境」タブを選択します。
③. 「接続先をローカルにする」をクリックしてチェックマークをオンにします。
④. 画面下の「登録」ボタンをクリックします。
⑤. アプリケーションの再起動を促すメッセージが表示されますので、「OK」をクリックすると、アプリケーションは自動的に終了します。
⑥. 再度 MOREsystem アプリケーションを起動させますと、「検査結果閲覧処理」ボタンだけのメインメニュー画面が表示されます。
⑦. 「検査結果閲覧処理」ボタンをクリックするとローカルにバックアップされたデータを読み込み検査結果一覧表が表示されます。

⑧. 検査結果一覧表から当該検査をダブルクリックするか｢検査結果表示｣ボタンをクリックすると眼底画像及び検査報告書を閲覧することが出来ます。

この設定はサーバーへのアクセスが出来なくなりますので、充分に注意して操作して下さい。次項でも説明しますが、インターネット回線障害が回復した場合、この設定を解除して(｢接続先を







ローカルにする」のチェックマークをオフにする)から再度アプリケーションを起動して下さい。この設定を行わないとサーバーにアクセスできませんので、必ず設定を解除して下さい。

7.3 インターネット回線障害時

インターネット回線に何らかの障害が発生しサーバーにアクセスできない場合、MOREsystem を起動すると次のようなエラーメッセージが表示されます。｢OK｣をクリックすると次の処理を選択する画面が表示されます。ローカルにバックアップされたデータをアクセスするか、一旦アプリケーションを終了して回線が回復してから再度起動させるかを選択します。ローカル接続してデータを閲覧する場合は｢OK｣をクリックします。終了する場合は｢キャンセル｣をクリッ





クします。ローカル接続した場合は、「7.2 データ閲覧方法」で述べたようにローカルにバックアップした眼底画像データ、検査報告書データを閲覧することが出来ます。

7.4　インターネット回線が回復した場合

インターネット回線が回復しサーバーに接続できる状態になった場合、一旦 MOREsystem アプリケーションを起動します。(「7.2 データ閲覧方法」参照)

①. ファイルメニューから「環境設定」を選択します。
②. 初期設定画面が表示されますので、「環境」タブを選択します。
③. 「接続先をローカルにする」のチェックマークがオンになっていますのでクリックしてオフにします。
④. 画面下の「登録」ボタンをクリックします。
⑤. 「登録」ボタンをクリックすると、アプリケーションの再起動を促すメッセージが表示されますので、「OK」をクリックするとアプリケーションは自動的に終了します。
⑥. アプリケーションの再起動を促すメッセージが表示されますので、「OK」をクリックすると、アプリケーションは自動的に終了します。
⑦. 再度 MOREsystem アプリケーションを起動させますと、通常のメインメニュー画面が表示されます。